

常盤新聞

日刊 發行所 常盤新聞社 印刷所 常盤新聞社

本社 同前地 (電話六三〇番)

電話六三〇番

定価 一月五圓 三月十三圓 半年二十五圓 一年五十圓

電話六三〇番

刊夕日七月五

支那に於ける不平等
條約廢止運動の概要

陸軍歩兵大尉 萩原英

而して又一方には關稅の自
主は獨立國家の絕對自由權
である支那が獨立國家たる
以上關稅自主は當然の事に
して厘金の裁撤と關係なし
と主張し全然會議遂行に誠
意を缺いたのである故に此
の關稅自主會議は其儘今日
に及んで居るのであらう。
而して支那は支那人の支那
なりと云ふ考からか現在で
は條約等は無視して輸入品
に對して勝手の稅金を附し
て居るのである、之れに對

(三)

し列國の對支意見が常に協
調を欠いて居る故一國位の
抗議も更に其効なく現在
泣寝入りの姿で對支貿易者
は不當の稅金を支拂ひつゝ
あるのである、不當課稅に
對して抗議すれば何時迄も
商品の受渡が出来ず商人は
眼前に困る故仕方なし不當
課稅でも支拂はざるを得な
い然らずんば商賣は出来な
いのである、斯く苦境にあ
るが生在の對支貿易者であ

第四章 舊條約の廢止一
部の實現

廢止

一、獨與兩國との舊條約

歐洲戰終結支那は參戰國
の資格を以て國際聯盟に
加入し得たるを以て戰敗
國たる獨與兩國との舊條
約を完全に廢棄した。此の
奧匈國は一九〇一年九月
七日北京に於ける北清事
變の最終議定書に依る一
切の利益も特權も收棄し
且つ一九一八年以降に於
ける議定書に規定した賠
償要求も放棄したのである
獨逸奧匈國の天津租界及
支那領土内にある家屋、
兵營、砲臺、軍器、棧橋、船
舶、無線電信等が公有財
産は一切支那政府に讓渡
した

(つづく)

學生カバン
卸し賣り

最特品五拾錢ヨリ
一個でも卸賣致します
玩具、文具、書籍、糸類

開屋 森下商店
平町一丁目
まめや號

大特價
通學用ゴムマント

男子用.....1.50ヨリ
女子用.....1.60ヨリ

なかや洋服店

春の御要意
服洋供子・傘洋人婦
折中春・ツヤシイワ

店商ヤルツ
(番十四百話電) 目丁四町平

常盤第一ノ磐城炭礦ノ石炭
大炭礦ナル

石炭トノ特長
一、目方ノ正確
二、品質ノ優良
三、配達ノ迅速

ドーシテアンナ良イ品ランナニ安ク賣レルカト驚カ
レ一度使ヘバ永久ニ使ヘ下サルノガ當店石炭ト「コー
クス」ト長

石炭は正十貫目 一俵金六十五錢也

平 驛 前
阿部石炭商店
(電話二三七番)

切斷の苦しみなく.....
ゆびはれ、やけど、淋病
梅毒、さりきず、乳はれ
くさ、りうまちす
其他化膿するもの一切

靈藥ムテキ

發賣元 阿康藥店
縣社下古鍛冶町(電話四四番)

ラヒト見本品引換券持参の方に進呈します
有偽物要注意

平町田町(横内醫院跡)
佐川齒科醫院

院長 齒科 佐川 涉
醫學士

(電七五九)

城盤共濟病院

平町 (電話六四一番)

■ 内科 小兒科
院長 醫學博士 難波 睦

■ 外科 皮膚泌尿科
部長 栗野 省三

■ 産科 婦人科
部長 木村 淳

■ 藥局 産婦人科部長 五十嵐 雄二
藥劑士 吉本 孝平
病院長 賀澤 忠治

季節向御料理大勉強
愈々公園の節

松ヶ岡公園池ノ端

廉賣 第一 割烹 ともさわ

電話二二六番

町 親 廉 愈 季
喫 切 賣 々 節
嚙 嚙 一 割 烹 ともさわ 向 御 料 理 大 勉 強

新築移轉
耳鼻咽喉科専門

場所 (舊診療所裏通り)
合津醫院
平町仲田町(電話五五九)

カーテン各種
コート一式
エプロン各種
醫術用白衣一式
理髮用白衣各種

福島縣平町長橋町三十
十字屋代理店
小西商店
本店 東京市池袋九一五
山本商店

外科専門
花柳病専門
木村外科醫院

入院自炊の便あり
平町五丁目橋際

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舗
平町二丁目(電三)

平町第三小學校新築敷地

近々中解決のケシヨ光

争つてゐるは何時迄も申請
その他の手續きが出来ぬ
算の編成建設認可並びに起
債申請等の手續きを急ぐこ
とも出来ない有様で急に迫
られてゐる新設問題を
徒らに 争ひを續け
遅らすことは教育上にも面
白くないと近く町當局では
委員会を開き敷地の決定を
なす等町當局では大体敷
地を決定したらしく近々中
問題に先づ敷地の決定にあ
りこれが決定せぬうちは豫
敷地決定の

委員会

を未だに開
くことが出来ず今日に及ん
でゐるが第三校建築の先決
問題は先づ敷地の決定にあ
りこれが決定せぬうちは豫
敷地決定の

百二十一歳までは 私は長生する積りぢや

ウソを働らけ、ウソを儲けろ
損をしたつてクヨクヨするな

浅野翁の大氣焰

百萬圓の寄附によつて近頃
殊に名高くなつた小名濱築
港などの關係で本縣とはな
じみの深いところの實業界
の飛將軍淺野總一郎氏紋服
姿のガツンリしたそとして顔
の色の迎も赤い、眉毛のお
ツそろしく黒い髪の毛の滅
法に白い淺野翁は始終ニコ
ニコしながら話をついでゆ
く
◇—角ッこの方で謎々—
白くツて黒いのは何なり？
『淺野さんの頭と眉』翁も
毎朝鏡を見てゐると見えて
『私を年寄りだなんて馬鹿
にしちやいけません、こゝ
眉毛から上は見ないで下さ
い』などと碎けてドツト
笑はせる
◇—『伊東喜八郎君が百
萬圓出せ、と斯ういふから
出すことにしましたよ、三
百六十萬圓かけて出来上が
れば私もあの小名濱港が使
へるからウンと儲かるとい
ふ譯です。』直敵に豪氣
で陽氣、春の夜の集ひには
ふさはしい話
◇—『私は會津出身の其
かみの名僧天海僧正を崇拜
して日頃の行ひも同じく百
二十一歳まで長生きします

湯本温泉の新景勝

御大典記念公園計畫

御幸山と天王崎を連繫する
青年會の努力で近く完成

湯本町の臺山公園は先年多
敷の櫻樹を植つけ温泉地に
ふさはしい遊園地となすべ
く施設經營大につとめたが
その後入山炭礦の發展に伴
ひ幽霊閑雅なる舊態を保持
する事が出来ず昨今では殆
んど温泉地における公園と
して体裁を有せざるに至つ
たので同町御幸青年會で
はこれに代るべき公園とし
て御大典記念事業として驛
前御幸山より山麓傳ひに天
王崎に至る一帯の地を相し
これが連絡道路の咽喉と櫻
樹移植の計畫を立て過般來
會長以下會員四十餘名が出
役作業中であるが同時に地
元各什長も熱心應援中で湯
本町における御大典記念事
業の新公園は近くその功を
竣へるものと觀られてゐる

初旅の便り

磐城高等女學校
三學年修學旅行
五月五日(第一信) おごろ

よ、どうです皆さん長生き
じませう。長生きしてよい
ものです、賛成の方は？、
.....なんて人をまる
で孫ひこの扱ひ

◇—左傾思想は途轍もな
くさらひだと見えて『ロシ
アの共産黨一味が工場主を
追放してその事業を管理經
營したがまた、く間に大失
敗滅亡茶苦茶となつてしま
つた』事を愉快氣に得意氣
に語つ出す『日本にはそん
な連中は居ないだらうとは
思ひますが何だか變な匂ひ
もしますから皆さん御安心
！御安心！』

◇—『私は今夜こんな羽
織など着てゐますが、毎日
午後六時までは青い労働服
を着けて工場内を見廻つた
り仕事をしたりしてゐます
だから私は労働者のつもり
でゐます、嘘だと思つたら
何時でも私の工場まで入ら
しつて見て下さい、麥御飯
位御馳走しますよ』

◇—『ウソ働いてウン
と金を溜めなきや駄目です
そして長生しなけりや嘘で
す、會津にはお金持の方が
澤山あるでせう、併しモツ
ト、儲けなけりやいけま
す』



白布の洗濯法

糊付の仕方 (上)
布地の種類によつて適宜石
鹼をかへることは洗濯上大
きな効果を得ます。そして

せん、さうして場合により
損なごすることもありませ
うが、そんなことは平氣で
あるやうでなければならま
せん』

女髮結の劇薬自殺

夫婦喧嘩の末に

平町播磨小路女髮結永井ト
シ(三)は六日午後六時頃自
宅に於て劇薬消毒液クレゾ
ールを多量に嚥下し苦悶の
末に死亡した原因は内縁の
夫建具職大森政勝と折合悪
しく同日も夫婦喧嘩の末で
あると

遂に收用

内郷村小學校増築敷地
内郷村では同村高坂尋常高
等小學校を増築するに當り
現在小學校附近畑地を坪
四圓五十錢から五圓五十錢
で買収したところ中央部に
一反歩ほどの地所を所有し
てゐるものがどうしても買
収に應ぜず縣から吏員が出
下有志家寄々協議中

絹織物、木綿物の白地の洗
濯法を次に記しませう。右
けんは正宗の一號と二號を
用ひます。先づ白絹を洗濯
するには洗面器の中へ湯を
入れ一號石けんを一反の布
に對し一分位切つて入れそ
れに織物を浸して混ぜなが
ら煮沸かして二三分後引
き上げます。それで洗濯は

募集

文藝其他投稿
を募集します
して居るのを見て、床しい
感じに打たれました。更に
商品陳列館、野廳、愛國婦
人會支部の前を過ぎ十時三
十分再び車中の人になり小
山に向ひました。青い、
麥畑黒土の田關東平野は何
處までも續いてゐます。此
の單調を破る雜木林に元氣
を盛りかへし、いよ、華
やかな日光に近づきました
長い旅の屈曲も忘れたや
う。日光々々と呼ぶ驛夫も
耳にうれしく汽車は長い旅
をつづけた長驅をホームに
入れました。

大敷網漁業

豊況を豫想さる

小名濱の大敷網は過般二條
の網をおろしたが昨今は潮
流の關係で獲は少ないが今
後鯛ぶり等の豊漁を見るべ
く意氣込んでゐる